

2025 年 11 月 27 日
日本空港ビルディング株式会社
株式会社ティアフォー
大成建設株式会社
株式会社アサイ
東京空港交通株式会社
ニッコー観光バス株式会社
両備ホールディングス株式会社

東京都東京ベイ eSG プロジェクト 令和 7 年度「先行プロジェクト」に採択 羽田空港での自動運転バス（レベル 4）実現を目指す



日本空港ビルディング株式会社、株式会社ティアフォー、大成建設株式会社、株式会社アサイ、東京空港交通株式会社、ニッコー観光バス株式会社、両備ホールディングス株式会社は、東京都スタートアップ戦略推進本部が実施する東京ベイ eSG プロジェクト「先行プロジェクト」*¹において、「次世代モビリティ（自動運転）」分野の提案が採択*²されたことをお知らせします。

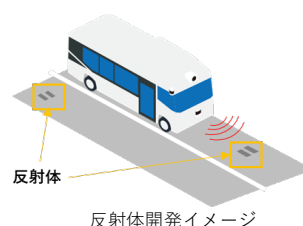
本事業は、これまで限定的であった自動運転の走行環境を拡張し、移動サービスの効率化と安全性の向上を図るとともに、自動運転技術の社会実装を推進することを目的としています。また、2028 年度には、羽田空港の制限区域内において、国内空港で初となるバス車両での自動運転レベル 4（特定条件下）*³の実現を目指してまいります。

■ 事業概要

本事業では、自己位置推定技術の複合化および路側反射体*⁴の開発を行い、中央防波堤エリアを技術検証の場として走行実証を実施します。開発された技術は、東京国際クルーズターミナル周辺および羽田空港制限区域内での走行実証を通して有効性を確認します。



自己位置推定の複合化技術の開発イメージ



採択テーマ	あらゆる走行環境における自動運転実証プロジェクト
プロジェクト期間	採択決定後から 2028 年 3 月末まで（単年度更新）
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央防波堤エリア ・ 周辺ベイエリア <p>(1) 東京国際クルーズターミナル周辺</p> <p>(2) 羽田空港 制限区域内</p> 
スケジュール・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025 年度 中央防波堤エリア等における技術開発・検証 ・ 2026 年度 羽田空港制限区域内でのレベル 2 走行検証 ・ 2027 年度 羽田空港制限区域内でのレベル 4 走行検証
実証内容	<p>(1) 自己位置推定の複合化技術の開発・走行検証</p> <p>(2) 路側反射体の開発・技術検証</p>

■事業体制と各社の役割

企業名	本事業における役割
日本空港ビルデング株式会社（代表企業）	事業全体の企画、関係各社・団体との調整
株式会社ティアフォー	自動運転走行技術の提供、 自己位置推定の複合化技術の開発、実証実験支援
大成建設株式会社	自己位置推定技術の開発・提供、事業全般の推進支援
株式会社アサイ	運行協力
東京空港交通株式会社	運行協力
ニッコー観光バス株式会社	運行協力
両備ホールディングス株式会社	運行協力

*¹ 自然と便利が融合した持続可能な都市の実現に向け、東京のベイエリアを活用し、最先端テクノロジーの社会実装に取り組むプロジェクト

[東京都スタートアップ戦略推進本部 東京ベイ e S G プロジェクト「先行プロジェクト」](#)

*² [東京都報道発表「「東京ベイ eSG プロジェクト」 令和 7 年度先行プロジェクトを採択」（2025 年 10 月 14 日）](#)

*³ 本リリース掲載時点での情報です。

*⁴ 自動運転バスは、GPS や各種センサーによって自己位置を把握し、路側設備（反射体）から得られる情報を活用して位置精度を補正することで、安全かつ正確な走行を実現します。

自動運転車両に関するお問い合わせ：株式会社ティアフォー MAIL：pr@tier4.jp 広報担当 9:00-17:30（土日祝除く）

自己位置推定技術に関するお問い合わせ：大成建設株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報室

TEL：03-5381-5011 9:00-17:30（土日祝除く）

プロジェクト全体に関するお問い合わせ：日本空港ビルデング株式会社 事業開発推進本部 事業開発課

TEL：03-5757-8098 9:00-17:30（土日祝除く）